

RECRUITING GUIDE

東洋建設の現場最前線レポート

編集 東洋建設株式会社 人事部



TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.

公式SNSはこちら



X



Instagram



note



YouTube



WE ARE HIRING!

東洋建設では、
「明日をつくる仲間」を募集中！
詳細は採用サイトをチェック！



TOYO FRONTLINE REPORT

RECRUITING GUIDE

東洋建設の現場最前線レポート

東洋建設のモノづくりとはどんなものなのか？
海洋土木、建築、洋上風力事業の3つの現場の
最前線からレポートします。

明日の
ための
モノ
づくり

現場のFRONTLINE REPORT

- 01 大分港・岸壁築造工事
- 02 新設大学キャンパス新築工事
- 03 洋上風力 技術開発

技術のFRONTLINE REPORT

- 01 進化し続ける東洋の“技術”に注目
- 02 明日をつくる現場を支える装備とは？

働き方のFRONTLINE REPORT

4×4 Q&A
社員に聞いた！シゴトに関する気になること
人財育成制度
働く環境・福利厚生





私たちが
明日のためのモノづくりを
しませんか。

途上国の発展のために、
カーボンニュートラル
実現のために。



同時に、
それは誰かの希望や
社会の明日でもあります。



この国の
豊かな未来のために、



海で、山で、街で、海外で。

私たちは
さまざまなモノを
カタチにしています。



私たちのモノづくり
明日のためのモノづ



は、
くりです。

大分港・

岸壁築造工事の現場を

取材しました！



大分港・岸壁築造工事

発注者 国土交通省九州地方整備局
工事名 令和5年度大分港（大在西地区）岸壁（-9m）
築造外1件工事
主要工種 岸壁（-9m）海上地盤改良工 基礎捨石投入、
ケーソン据え付け 中詰材投入、
蓋ブロック、泊地（-9m）浚渫工



現場のFRONTLINE REPORT

01

海洋土木
の現場

MEMBER

写真左から

北川 大真

九州支店 土木部
2023年入社
高専・まちづくり防災コース卒

初配属は博多湾の岸壁築造工事。自分の作業が実際にカタチになることに感動、やりがいを実感した。「この現場は2件目。据え付けるケーソンが多く、自分にとって新しいチャレンジです。最初の現場経験を踏まえ、自分から率先して動くことを心掛けて現場に臨みました」

亀谷 夏未

九州支店 土木部
2022年入社
理工学域地球社会基盤学類卒

初配属の志布志湾の岸壁築造工事では現場写真の撮影を担当し、ドローン操縦資格も取得。その後、火力発電所の棧橋補修工事を担当し、この現場へ。「1、2年目とは異なり、施工管理全般に携わった現場です。多くの工種を経験し、技術者として成長した実感があります」

松崎 修

九州支店 土木部 作業所長
1991年入社
工学部海洋土木開発工学科卒

入社以来、主に岸壁や護岸、埋立などの海洋土木に携わってきた。「大分港の案件受注は久しぶりで、注目されている工事。見栄え良く高品質な岸壁築造を目指しました。私自身、実はケーソン据え付けは初めて。メンバーのノウハウを結集して取り組みました」

古川 英明

九州支店 土木部 監理技術者
2018年入社
工学部建設社会工学科卒

これまで9件の海洋土木工事を経験。その多くがケーソン据え付け現場。「この工事は比較的コンパクトですが、初めて監理技術者を担当した現場。現場の技術面の責任者として、今までの経験をフルに発揮し、いいものを生み出したいという気概で臨みました」

川角 洸介

九州支店 土木部
2019年入社
工学部環境建設工学科卒

これまで海洋土木工事を4件、陸上土木工事を2件担当してきた。「この現場は所長、監理技術者に続く年次で、後輩が2人。ちょうど中間に立つポジションです。後輩をフォローしつつ、指示されたことだけでなく、自分の考えを発信しようと、主体的に取り組みました」

九州・大分港一帯九州における海・陸の接点として物流の重要な役割を担う港です。近年、貨物需要が高まり、大分港におけるRORO船^{※1}のシャシー（車両付き台車）輸送台数は年々増加、その傾向は今後も続く見通しです。そうした中、大分港は水深不足のため、RORO船への積載制限を行う必要があり、輸送需要に対応しきれない状況が発生しています。こうした課題を解決するため進められているのが、大型RORO船が接岸できる岸壁の築造工事です。必要とされる水深は9m、浚渫^{※2}後の岸壁築造を東洋建設が担っています。2023年6月に着工、海上地盤改良工事、基礎工^{※3}を経てケーソン^{※4}据え付け、その後、蓋ブロック^{※5}を設置し、2024年3月に完工しました。

※1 RORO船：トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み（Roll-on）、貨物を積載したまま運搬・下船（Roll-off）できる貨物用船舶
※2 浚渫（しゅんせつ）：河川や港湾などで水深が深くなるよう水底を掘削する作業
※3 基礎工：ケーソン据え付けのため、海底に捨石を投入し均す作業。ケーソンの安定を図る
※4 ケーソン：上側が空いた面状のコンクリートの構造物。内部はマス目のように一定の間隔で仕切りが設けられている
※5 蓋ブロック：ケーソン上部に蓋をする目的で打設される版状のコンクリート構造物

地域インフラを担う
使命感を胸に、
若手中心のチームが奮闘中！

Q. 明日をつくる現場のチームとは？

20代の若手メンバー中心による岸壁築造
メンバー全員が一つのチームに

東洋建設の施工管理担当者は作業所長を含め、5名。所長を除くとすべて20代という若いメンバーが集まりました。少数精鋭の組織で、他の現場で一緒に働いたメンバーも多く、チームワークは抜群です。所長以外は、岸壁築造工事の花形であるケーソン据え付けの経験者。協力会社の作業員もケーソン据え付けのプロが結集しました。協力会社のメンバーを含め、全員が一つのチームとして連携・協働し工事は進められました。



発注 ↓ プロジェクト管理

東洋建設 九州支店土木部

作業所長 *1 松崎 修	監理技術者 *3 古川 英明	工事担当 川角 洸介	工事担当 亀谷 夏末	工事担当 北川 大真
所長に加えて「現場代理人」という立場。所長として現場を指揮・管理するとともに、現場代理人*2として、発注者対応の役割も担う。	現場の施工に関して「監理技術者」として大きな責任を担う立場。ケーソンの経験が豊富であり、据え付けの際は中心的役割を担った。	施工管理全般を担当。特に海上地盤改良工事や基礎工、その後の「均し」作業において導入された、各種ICT施工実施の指揮を執った。	施工管理全般を担当。特に「蓋ブロック」製作において、計画から段取り、製作外注先との折衝・調整など、一貫して担当した。	施工管理全般を担当。先輩からの指導・フォローを受け、さまざまなことを貪欲に吸収した。安全関連書類に関してはすべて任された。

以上5名

監理監督 ↓ 工事担当

協力会社 数社 総勢数十名の作業員	海中で作業を行う潜水士、ケーソン据え付け、浚渫船・土運船・起重機船での作業など、海洋土木に精通した協力会社とタッグを組んで工事を進めていく
-----------------------------	---

※1 作業所長：工事現場の総責任者として会社が任命した職員
※2 現場代理人：契約者の代理人として、施工に関わる全ての事柄に対応する者。工事によっては契約により配置義務あり
※3 監理技術者：施工における技術上の管理・監督をする者。工事によっては法律により配置義務があり、資格が必要

Q. このチームがつくる未来図を教えてください。

大分港が新たな産業港湾拠点へ進化する
海上・陸上複合型の輸送ターミナル実現へ

今回の港湾施設整備工事は、大型RORO船の受け入れ強化に対応するものです。この整備が進むとターミナル内に置けるシャシーは現在の4倍以上になる見込みで、海上・陸上複合型の輸送ターミナル機能が高まり、大分港はまさに「九州の東の玄関口」として進化します。現在、運送業界のドライバー不足により海上輸送への転換が加速していることもあり、この整備の持つ意味は非常に大きいですし、地域の経済基盤・競争力強化の一端を担う意味でも東洋建設の社会貢献度は高いものがあります。整備の完成が本当に楽しみです。

——作業所長 松崎 修



これほどの大型船を受け入れ可能な港に進化するんですよ

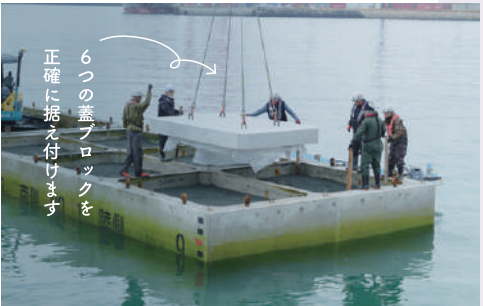
現場の1Dayに密着しました

岸壁や護岸などの海洋土木工事で必要なのが「ケーソン」と呼ばれる大きな鉄筋コンクリートの函。大型起重機船で行われるケーソン据え付けは海洋土木の花形ですが、その後の総仕上げとなる現場の一日を紹介します。

8:00	朝礼 ラジオ体操後、工事関係者全員で朝礼。一日の工事内容の確認、KY(危険予知)活動、安全確保の徹底を図る。作業を行う多目的作業船・起重機船が出航。
8:30	ケーソンに中詰材投入 据え付けたケーソンの安定化を図るため、ケーソン内部に、土砂や石材などで構成される「中詰材」を起重機船によって投入。協力会社の作業員に指示しながら慎重に進めます。
10:00	中詰材積み込み 投入し終えた後、再度投入のため、起重機船は中詰材を積み込むために出航。
11:00	事務作業 中詰材の数量、検収等のデータ確認。起重機船の面積等を把握して、中詰材の数量を把握します。
12:00	昼食 自宅（借上寮）が近いので、私は帰宅して食事をすることが多いです。
13:00	中詰均し ケーソン内に投入された中詰材を、バックホウと人力で、平らに「均す」作業を行います。ケーソンが海中で安定するよう6マスすべて同じ高さに整えることが重要です。
15:00	現場終了 蓋ブロックを設置後、出来形等を確認。測量も行って慎重に品質をチェックします。
16:00	ミーティング 作業所で協力会社の職長と、東洋建設メンバー全員によるミーティング。一日の作業の振り返りと明日の予定作業の確認。
16:30	
17:00	事務作業 検収数量、出来形等、作業結果のデータを入力。写真整理。翌日の作業計画書の確認。今後の気象状況をチェックします。
18:00	退社



一日のはじまりはラジオ体操から



6つの蓋ブロックを正確に据え付けます

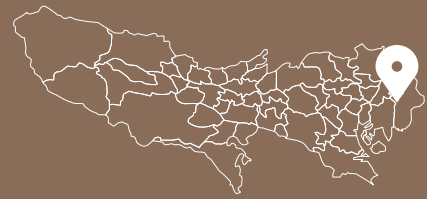


紹介してくれたのはこの人

岸壁築造の最終工程は、中詰材投入・均しと蓋ブロック設置です。これで工事の9割以上は終了となります。この蓋ブロックの製作は外部の協力会社に依頼しましたが、その計画や段取りから実際に製作の管理まで、私が責任者として担当しました。自分の意見や考えを発信し、自分主体でやり遂げた取り組みです。最初の蓋ブロックが起重機船に吊られ、設置されたとき、大きな感慨がありました。

亀谷 夏末

新設大学のキャンパス 新築工事のプロジェクトを



東京情報デザイン専門職大学新築工事

発注者 学校法人滋慶学園
所在地 東京都江戸川区
敷地面積 10392.73 m²
建築面積 3343.18 m²
延床面積 9956.02 m²
構造規模 S造 地上4階

取材しました！

東洋建設の
歴史に残る建築物を
生み出しました！

永野 裕人

関東建築支店 建築部
2017年入社
工学部建築学科卒

まだ現場経験が少ない中で、学校建築の施工管理の現場に抜擢された。「担当することが決まったとき、新しいことへの挑戦に期待が高まり、ワクワクしたのを覚えています。私自身は主に躯体工事、内装工事の施工管理を担当しました。工事後半ではお客様から励ましの声を、また竣工時にはお客様から『お疲れさま』の声をいただき、プロジェクトに携われた喜びを実感しました」

樫村 篤

建築事業本部 営業第三部 部長
1986年入社
理工学研究科海洋建築工学専攻修了

約30年近く学校案件に取り組み社内随一の経験値をもつ。「当社の施工実績として教育関連施設は決して多くありませんが、私自身がこの分野を切り拓いてきた自負があります。今回が7校目になりましたが、設計・施工のクオリティの高さから、当社の歴史に残る建物だと思っています。私にとってキャリアの集大成となる建物。竣工時は今まで以上の感動がありました」

新崎 英樹

関東建築支店 建築部 作業所長
1990年入社
工学部建築学科卒

入社以来、数多くのマンション現場の施工管理を担当してきた。「作業所長として初の共同住宅以外の用途であり、かつ初の鉄骨造。チャレンジする気持ちで現場に臨みました。当社が『設計』『施工』を担当したことで、ディテールとデザインにおいて、積極的に提案し続けることが可能なプロジェクトでした。関係者全員が満足のいく建物をつくり上げることができたと思っています」

柏本 智史

建築事業本部 設計部 課長代理
2006年入社
工学部建設工学科卒

これまで共同住宅や医療施設、事務所、工場、倉庫などさまざまな建築の意匠設計を担当してきました。「教育施設の設計は初めての取り組みで、ここまで意匠にこだわり抜いたのも初めての経験でした。すべてがゼロから考える仕事で、また関係者の数が多く合意形成を得ることに苦しみましたが、設計者として新たな世界が拓け、ステップアップできたと感じています」

設計から施工まで
一貫して担当した
現場です！



MEMBER

写真左から





明日をつくる現場のチームとは？

営業・設計・施工各メンバーが一丸となり、

強力なチームワークでプロジェクトを推進しました

このプロジェクトの大きな特徴は、「設計」「施工」の両方を東洋建設が担当したこと。したがって、営業・設計・施工管理の各メンバーが、文字通り「一丸」となり、強力なチームワークを発揮して取り組んだプロジェクトでした。また施工協力会社、ランドスケープや照明のデザイン事務所等、各分野のスキルを持つ外部の関係者も巻き込み、全職員が垣根を越え、スクラムを組んでプロジェクトは推進されました。



学校法人滋慶学園（施主） ジケイ・スペース DUCE（監修）

発注 ↓ 設計・施工



東洋建設 建築事業本部（営業、設計）、関東建築支店建築部（施工）

洗練されていながら、温かみのある建築を。
緑に囲まれた自然豊かな周辺環境と調和を図るため、設計・施工に挑む。



営業担当
樫村 篤

受注に向け、過去の学校づくりの実績をもとに、大学新設時の課題解決を含めて提案を行った。受注後は顧客と現場の橋渡し役を担う。



設計・意匠担当
柏本 智史

徹底して建築の意匠にこだわるとともに、四季の変化を感じる潤いのある緑を創出し、ランドスケープデザインにも力を注いだ。



作業所長／施工管理担当
新崎 英樹

工事の円滑な進捗、品質、安全確保等、現場の全責任を担い俯瞰的な視点で指揮・管理した。設計者とのコラボを意欲的に推進した。



施工管理担当
永野 裕人

躯体工事、内装工事担当。内装工事では床のひび割れ防止のためクラックチェックを行い、ひび割れ防止剤で対処した。

ほか計15名

会議体組織・監理監督 ↓ 答申・工事担当

環境対策会議

江戸川区、環境計測の専門家、学識経験者、滋慶学園、東洋建設による環境対策会議を組織。敷地内の環境保全の取り組みを推進。

協力会社 総勢約20社

施工協力会社、ランドスケープや照明のデザイン事務所など、さまざまなプロフェッショナルを統括し、工事を進めていく。



このチームがつくりだした未来を教えてください。

「創造力・コミュニケーション力を培う空間」の創造

東洋建設にとって、次代に向けた大きな一歩

新設大学は、情報やテクノロジーを活用し、新たな価値を創出するスキルを身に付けたエンジニアの育成を目指す場です。そのために打ち出した建物の設計コンセプトが「創造力・コミュニケーション力を培う空間」でした。社会のIT化が急速に進展していく中で、新設大学の存在意義は非常に大きなものがあります。未来の社会を担う人材が育まれるための最適な場を生み出すことができたと感じています。それは東洋建設にとっても、次代に向けた大きな一歩になったと思っています。

——営業担当 樫村 篤



私たちがつくった
キャンパスで
学ぶ学生の姿に感動！

建築物ができるまでの流れを
聞きました

STEP
01
営業・受注

大学案件の実績・ ノウハウを活かして提案

営業活動は、さまざまなソースを通じた案件情報の収集から始まります。その中で滋慶学園様が4年制大学を構想している情報を把握、ヒアリングを開始しました。当社は、過去6校の開学支援を行っており、ハードとソフト両面の確かな実績・ノウハウが評価されたと感じています。特に敷地内の、希少なトンボの生育保全という環境問題解決に道筋を付けたことが高く評価されたポイントです。

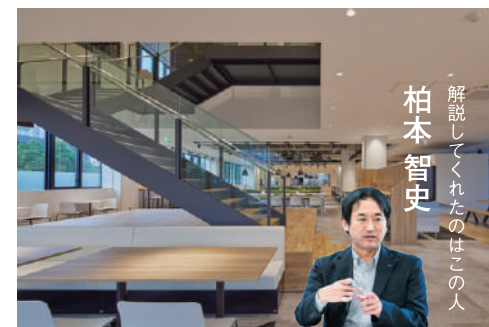


解説してくれたのはこの人
樫村 篤

STEP
02
設計・意匠

建学の考えに沿った 設計コンセプトの立案

大学名に「情報デザイン」という言葉が入っているように、ITをはじめとした先端技術のスキルを持つ人材の育成が建学の精神です。その実現のために、創造力とコミュニケーション力が培われる場をつくりたいと考えました。自然豊かな敷地のポテンシャルを最大限に生かすため、建物の配置や形態、ランドスケープデザイン、植栽計画を何度も検討。学生のための豊かな空間とは何か、を追求しました。



解説してくれたのはこの人
柏本 智史

STEP
03
施工・竣工

随所に光った ディテールへのこだわり

施工管理部隊は、着工する前に近隣の方々に工事への理解を求める必要があります。着工の約5カ月前から住民説明会に参加し、住民の方々の理解・納得を求めていきました。実際の施工では、設計者が求める意匠性を確保しつつ、随所に工夫を施しました。難工事ともいえる施工でしたが、ディテールへのこだわりを遺憾なく発揮できたプロジェクトでした。竣工時は格別の感慨がありました。



解説してくれたのはこの人
新崎 英樹

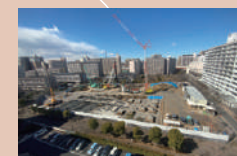
着工から竣工までの 15カ月間を紹介！



2021年6月
着工前
現地は草木が生い茂る野原



2021年11月末
着工後1カ月
整地が進み、ようやく建築現場らしくなる



2022年2月
基礎工事
基礎工事が進み、上部躯体工事の準備も進む



2022年4月末
躯体工事
いよいよ躯体工事が開始。柱が立ち始め建築物の骨格が見えてくる



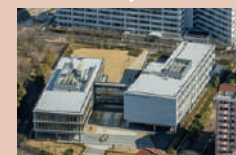
2022年5月末
足場の組み立て
建物の躯体工事が進み、足場も組まれる



2022年9月末
外装工事
全体が足場で覆われ、外装・内装工事が進む



2022年12月末
外構工事
足場が外れ、建物外観が現れると、竣工は目前



2023年1月末
竣工・引き渡し
15カ月の短期間での工事が終了し、施主へ引き渡し

洋上風力事業 の現場

洋上風力事業の 技術開発現場を 取材しました！

「東洋建設の明日をつくる」
その使命感を胸に、
各分野のプロが集まりました！

MEMBER

草柳 孝義

洋上風力事業本部 船舶機械部
2014年入社
デザイン工学部デザイン工学科卒

機械職として東洋建設に入社し、主に作業船の建造・修理を担当、国内外での船を使用した港湾工事にも従事した。「今回、洋上風力事業に参画したことで、これまでの経験を活かして業務に取り組み、東洋建設の未来を切り拓いていきたいと思っています」

トリム ケイラブ

洋上風力事業本部 管理部
2021年入社
異文化学部卒（アメリカ）

日本育ちのアメリカ人。言語力を活かし、バイリンガルが求められる現場で経験を積む。「東洋建設が進める洋上風力事業では、海外企業との連携が必要不可欠。バイリンガルのスキルを活かし、プロジェクトの円滑な進捗に寄与していきたいと考えています」

ラマ スニル

洋上風力事業本部 工事統括部
2021年入社
土木工学部卒（インド）

洋上風力事業参入という、チャレンジングな姿勢に惹かれて入社を決めた。「現在、洋上風力の基礎に関する技術開発に取り組んでいます。このプロジェクトの成功によって、当社の成長のみならず、カーボンニュートラルの実現に貢献していきたいと思っています」

吉田 勝

洋上風力事業本部 工事統括部
2016年入社
工学部社会環境工学科卒

入社以来、一貫して土木工事の施工管理業務を担当。「洋上風力部で初めて担当したのが、今まで国内での実績のない外国籍船を用いた大水深下での、浮体式洋上風力の実証実験でした。その新しい挑戦のメンバーに抜擢されたことを光栄に感じています」

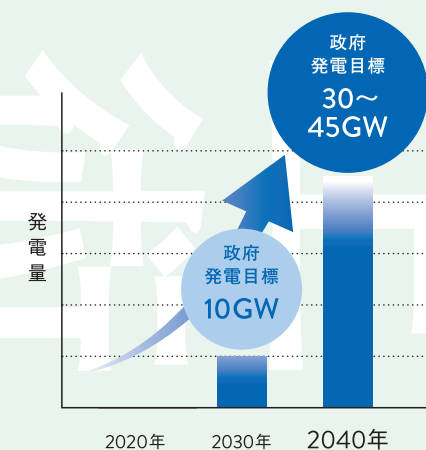
泉 照久

執行役員 洋上風力事業本部長
1996年入社
理工学研究科土木工学専攻修了

およそ10年前から、洋上風力市場への参入を主体的に検討してきた。「世界的に再生可能エネルギー導入の機運が高まる中、当社の洋上風力事業を牽引するのは、自分しかいないという気概を持って業務に臨んでいます。やるからにはトップを目指します」

2 050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年代以降に日本における洋上風力発電市場は大きく拡大することが見込まれています。当社は海洋土木で培った知見を活かし、洋上風力事業への挑戦を開始、この分野を会社の成長ドライバーと位置付け、総力を挙げて事業を推進しています。新たに立ち上げた洋上風力事業本部では、現在、着床式および浮体式の2つの技術開発を進め、2027年度以降の商用化に向けて取り組みを進めています。東洋建設の新たな柱を目指す事業構築の最前線とは？技術開発の現場取材しました。

洋上風力発電市場の拡大予測



浮体式の普及により急拡大

明日をつくる現場のチームとは？

東洋建設の成長ドライバーとなるべく、
多様なバックグラウンドのメンバーが
集まりました

2021年に発足した洋上風力部は、2024年に洋上風力事業本部へ格上げされ、各部署から総勢約40名のメンバーが集結しました。独自の技術開発を中心とした取り組みが加速しています。

洋上風力事業本部 プロジェクトメンバー

ケーブル敷設船担当
草柳 孝義

会社の設立以来の最高額の設備投資である、ケーブル敷設船の建造に関わる業務を担当。建造される海外の造船所で、造船管理を担う。

技術開発／実験担当
吉田 勝

浮体式洋上風力の係留基礎開発を目的としたオフショア実験を担当。鋼管杭の施工スピードや精度を検証、設計引抜き等を検証した。

技術開発担当
ラマスニル

着床式及び浮体式基礎技術の開発を担当。浮体式では係留力の基となるドラッグアンカーと呼ばれる基礎の検討を数多く実施している。

企業連携／契約等担当
トリム ケイラブ

洋上風力事業を進めていくには、国内外の企業と連携していく必要がある。その際、契約の締結に必要な交渉等の業務に従事。

商用化に向けて、
実証実験が
着々と進行中！

ほか約40名

プロジェクトの様子を紹介

サクションバケット基礎
(モノバケット実証実験)

サクションバケット基礎
(マルチバケット実海域実証実験)

TLP係留基礎
(杭の引抜き実験)

TLP係留基礎
(大水深施工技術実験)

このチームがつくる未来図を教えてください。

洋上風力の海上工事でトップランナーとなり、
2050年のカーボンニュートラル社会の実現に貢献

技術開発
(着床式)

技術開発・技術認証(サクション基礎)

社会実装

技術開発
(浮体式)

浮体式技術開発

社会実装

設備投資

ケーブル敷設船の建造

大型作業船調達

工事投入

工事投入

24年度 25年度 26年度 27年度以降

当社が洋上風力事業市場に参入し事業を拡大していくことは、カーボンニュートラル社会の実現に貢献することにつながります。また洋上風力発電に求められるのは、低コスト化の実現です。当社が進める着床式や浮体式の技術開発ではコスト削減が大きなテーマです。施工法や設計等の技術開発においても、コスト低減を大きなテーマとしています。当社が洋上風力・海上工事でトップランナーになること。それが安価な再生可能エネルギーの供給実現に寄与すると確信しています。

—— 泉 照久

技術開発の今を聞きました。

この分野のトップランナーになるべく、
2つの技術開発を急ピッチで
進めています

洋上風力には、海底に基礎構造物を打設しその上に風車を乗せる「着床式」と、浮体を係留して風車を乗せる「浮体式」があります。着床式は遠浅の海域（約30m）、浮体式は大水深の海域（約100m）で採用されます。海岸近くから深い海域が広がる日本では、浮体式の実用化が洋上風力発電市場の拡大に欠かせません。

着床式技術開発の現在

着床式の領域

- 基礎／付帯工事
- 風車組立*
- 海底ケーブル敷設
- O&M（保守運用）

※参入を検討中

通常着床式の場合、一般的に基礎杭を打設する方法が採用されますが、当社は「サクションバケット」と呼ばれる基礎形式の開発を進めています。この形式は基礎を形成するバケット内部の排水による水圧を利用してバケットを貫入。日本の地盤に適した工法で適地拡大に貢献しますし、大型設備が不要なため低コストが実現するなど、多くのメリットがあります。「サクションバケット基礎」は2023年に第三者機関による評価証を受領しています。

解説してくれたのはこの人

ラマスニル

浮体式技術開発の現在

浮体式の領域

- 浮体製作*
- 係留工事
- 風車組立*
- 海底ケーブル敷設
- O&M（保守運用）

※当社事業領域外

現在当社では「TLP(Tension Leg Platform)浮体式係留技術」を開発しています。Tensionとあるように海底基礎との緊張係留により浮体を係留する方式です。TLPは、他の係留方式に比べて海面下での占有面積を1000分の1程度まで抑えられ、漁業や船舶運航などへの影響が少なく、また浮体動揺が少なく風車故障のリスク低減が期待でき、国内では今後の導入拡大が確実視されています。2023年8月に北海道石狩湾沖で大水深での実証実験を行い、TLP係留基礎の設計・施工技術の確立に向け大きく前進しています。

解説してくれたのはこの人

吉田勝

2027年度の工事投入を目指し、
国内最大の自航式ケーブル敷設船を新たに建造中！

全長150m、幅28mの国内最大の自航式ケーブル敷設船を新規建造中です。容量9000tのケーブルタンク（ケーブルを格納するタンク）を搭載しますから、大規模なウインドファームや長距離のケーブル敷設にも対応可能です。250t吊りのクレーンも設置するため着床式・浮体式の基礎施工など、さまざまな外洋作業に適用することができます。現在、ヨーロッパの造船所で建造を進めており、2026年度の完成、2027年度の工事投入を目指しています。これほどの規模の船を自社で持ち、その建造に携われるのは東洋建設ならではの醍醐味だと感じます。

—— 草柳 孝義

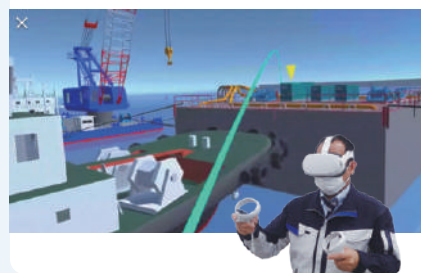
東洋建設で過去最大規模の投資に！

14

15

東洋建設は“技術の東洋”として、高い技術力には定評があります。
ここでは最新技術、またマリコンならではの起重機船を紹介します。

仮想空間を活用した工事の疑似体験



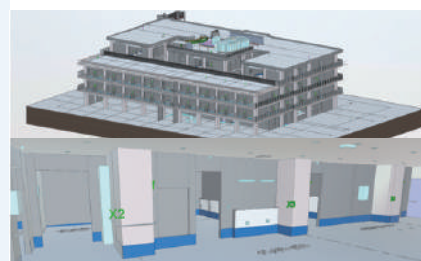
仮想空間に3次元モデルの施工現場を構築し、効率的な施工手順の確認や安全対策を練る取り組みを行っています。汎用VR（Virtual Reality：仮想現実）ゴーグルを使用することにより手軽に施工現場の疑似体験が可能です。船舶やクレーンなどの重機作業を仮想空間で何度も試すことができます。仮想空間での施工現場の構築には、ゲームエンジンや3DCGアニメーションソフトを使用しています。

ARを活用した遠隔での出来形管理



AR（拡張現実）技術を用いた遠隔臨場を行っています。Web会議システムを利用して、構造物や仮設物が計画通りできているかを現場から離れた場所から発注者と受注者が同時にリアルタイムに確認する取り組みです。全職員に配布したiPhoneとiPadを使用して、現場の構造物と同じ位置に3次元モデルを重ね合わせて投影し、数量や寸法確認などの出来形管理を行います。3次元モデルの透明度を自由に変更できるため、計画と実物の差異を視覚的に比較確認できます。現場への移動時間の削減、ペーパーレス化などの効果があります。

BIM※を活用した現場業務の効率化



BIM技術を活用し、現場職員の業務効率化を実現しました。GLOOBE（施工BIMソフト）を使用し、施工計画を行う上で必要な土量・コンクリート数量を算出するほか、鉄骨工事の工事順序の検討や仮設計画イメージなど、現場の効率化につながる取り組みを行っています。

※BIM：コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積・材料・部材の仕様・性能・仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建築情報モデルを構築する事

500t吊自航式多目的起重機船

「AUGUST EXPLORER」



「AUGUST EXPLORER」は港湾区域内の工事だけではなく、遠隔離島などの外洋域での活躍を目指して2016年8月に建造された500t吊自航式多目的起重機船です。係留にアンカーを用いない定点保持機能（DPS:Dynamic Positioning System）を有しています。本船は、魚礁据付工事、GNSS波浪計ブイの設置工事やAUV（深海用自律型潜水調査機器）の母船として活躍しています。水中に据え付けるブロック等の位置誘導は、最新のICT機器を使用した施工管理システムを用います。また、吊荷の動揺を低減させるため動揺予測システムとクレーンウインチ制御システムを統合させた「AHC-RMP（吊荷上下動低減装置）」を開発し施工の効率化を図っています。

明日をつくる現場を支える 装備とは？

東洋建設では、2022年に新作業服を導入しました。

現場社員の声を聴き、機能性に加え「着たくなる」デザイン性を重視し、

働くモチベーションを高めるものへとモデルチェンジしました。

現場で使われる装備品とともに紹介します。

女性用の規格

すべてのモデルに女性用の規格を設けリニューアル。

女性用ヘルメット

束ねた髪を出しやすいように女性用ヘルメットの後部はシルエットに工夫が。



ズボン

細身で美しいシルエットを保ちつつ、ストレッチ素材で動きやすい構造

インナーシャツ

長袖シャツは、汗ジミ等が目立たないようデザインを改良

腕のポケット

左右にベン袖ポケットが付いて便利

胸ポケット

ブルゾンのポケットはスマホや手帳などに最適化されたサイズに

カーゴポケット

フルハーネス型の安全帯装着を前提に、両サイドにカーゴポケットを付けたカーゴパンツ

現場に必須のアイテムを紹介

【iPhone / iPad】

全ての現場社員に支給されているiPhone / iPad。施工図面等の確認から、地形や土量測量を効率化するアプリ、出来形・品質管理表のリアルタイム作成など、現場の施工管理を効率化するとともに、現場ナレッジ共有にもつながるツールです。



【ライフジャケット】

海上での作業を行う場合に必須のライフジャケット。いざという時の安全を守る大切なアイテムです。



【スケール】

建設も土木も施工図通りに工事が進んでいるかを正確に把握することは施工管理の基本中の基本です。DXが進んでもメジャーは常に携帯し、違和感があれば常に確かめることが大事です。



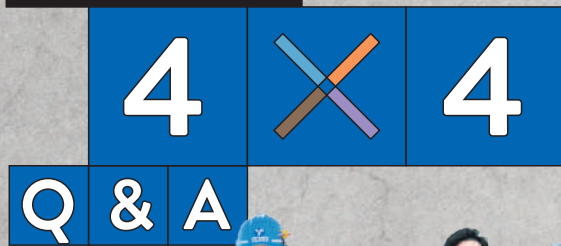
【ハーネス】

高所作業等ではフルハーネス型の安全帯の装着が必須です。スムーズに装着できるようになったら、現場業務に馴染んだ証です。



写真左：
太田 知里
土木 施工管理
関東支店 土木部
2020年入社

写真右：
吉永 諒平
建築 施工管理
九州支店 建築部
2017年入社



社員に聞いた！

シゴトに関する 気になること

土木 建築 機械 事務 を担当する4名の社員に、
シゴトに関する気になることを、聞いてみました。



Answer!

国内最大級の起重機を使った
ドルフィン据付は大きな達成感でした

入社3年目のときに担当したフェリー棧橋補強工事は、成長の大きなきっかけになりました。工事内容は、フェリー棧橋の補強。予め製作したコンクリート部材を施工するプレキャスト工法を用いて、先行打設した鋼管杭に大型のドルフィン（係留施設）を据え付けるものでした。狭小な現場だったため国内最大級の起重機を用いての施工で、据付当日は非常に緊張しましたが、上部工が無事据え付けられたときにはみんな笑顔で喜びました。そのときの高揚感、達成感は今でも忘れられません。

時任 和駿 2015年入社 大阪本店 土木部



Answer!

さまざまな制約を乗り越え、
現場を動かせたとき成長を感じました

明治公園内に7棟の商業施設や管理棟を建築する工事が印象に残っています。建築とは別に他社が施工する造成工事と並行して工事を進める必要があったため、スケジュールや施工方法など、多くの調整が必要でした。こうした場合、協力会社さんの職人さんにも負担がかかり、いつもと同じような指示だけではうまくいきません。相手の要望や考えをしっかりと聞きながら、こちらの要望を伝えていく。それを自分なりに行うことができ、しっかりと現場を動かしているなど実感できました。

渡邊 早織 2019年入社 関東建築支店 建築部

Question 1

印象に残っている現場や仕事
について教えてください！



Answer!

作業船の安全と効率を高める
システム開発で現場に貢献しました

海上工事の作業船に搭載する、航行船舶総合安全監視システムの開発が印象に残っています。安全確保のため、船舶周囲を一元管理で監視するシステムで、信頼性の証となるNETIS（新技術情報提供システム）を取得。さらに、発生する波が作業船に与える影響を予測する航跡波予測監視システムでは特許を取得しました。作業船による海洋土木の現場に新しい技術を導入できたことで、作業の安全性、効率性を高めることに貢献でき、大きなやりがいを感じました。

豊澤 菜々彩 2017年入社 土木事業本部 機械部



Answer!

安全祈願祭の実行を通じて、
現場の一員だと実感できました

支店総務部は施工管理・技術開発以外のほぼすべての業務を担当です。印象に残っているのは、建築工事の安全祈願祭。当日の司会からテント設営業者手配、出席者調整、神主との打ち合わせ、備品用意等、配慮しなければならない点は山ほどありました。安全祈願祭は施主様からここからはじまる工事への期待と信頼を得る最初のイベントでもあり、一つでも欠けたら成功しません。無事に式典が終了した際に、担当の方からお褒めの言葉をいただいたとき、自分も現場の一員なのだとやりがいがありました。

安藤 駿太郎 2018年入社 四国支店 総務部



Answer!

どんどんコミュニケーションし、
現場をスムーズに動かしていく

この仕事を始めてから身に付けた私の強みは、人見知りをしないこと。建築現場では毎日多くの協力会社さんの職人さんたちとコミュニケーションをとる必要があり、その規模は、数十人から数百人に上る現場もあります。私たちの仕事は、このものづくりのプロたちを指揮・管理する立場ですから、人見知りをしている仕事になりません。自分からどんどん話しかけてコミュニケーションを深めることが、現場をスムーズに前に動かす秘訣だと感じています。

渡邊 早織 2019年入社 関東建築支店 建築部



Answer!

現場も含め支店全体を俯瞰し、
経営的な視点で最適化する

支店総務部の業務は、現場事務から経理・財務、利益管理などあらゆる面にわたります。これらの業務をスムーズに動かすためには、個々の業務をただ進行するだけではなく、現場も含めた支店全体を総合的に俯瞰する視点が必要です。支店全体を経営的な視点でとらえつつ、個々の仕事の最適化を図っていく、それが事務職の重要な役割です。また学生時代に熱中したアメフト経験で培った、チームで一つのことを成し遂げる考え方は、自身の強みですし、支店総務の仕事にも役立っています。

安藤 駿太郎 2018年入社 四国支店 総務部

Question 2

現場や仕事を動かすための
あなたのこだわりや強みは？



Answer!

「楽しさ」がある現場をつくり、
常に新しい挑戦にこだわっていく

現場に必要なものは、「楽しさ」。それは、みんなが積極的に意見を発信し、楽しく笑い合える環境です。これまでそのような現場をつくりたいとやってきましたし、今後もそれは変わりません。楽しい現場は雰囲気だけでなく、施工品質、工程、安全などすべての面で高いクオリティを実現するからです。また、現場では、新しい技術や工法など、やりたいことに挑戦することにもこだわっています。時には失敗もしましたが、挑戦を自身の強みとして今後も現場に関わっていきたいですね。

時任 和駿 2015年入社 大阪本店 土木部



Answer!

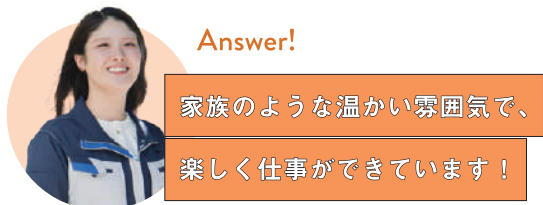
システムは机上ではなく、
現場に出向いて開発していく

海上工事用の作業船に関わる中で、私は主にシステム関連の業務を任されています。大切なのは机上で検討するだけでなく、作業船が活動している海、つまり現場に出向くこと。そして現場でシステムをテストし、実際にシステムを使う作業員の方々の話を直接聞くことです。そこで見えた課題やニーズこそが、実用性の高いシステム開発につながっていくからです。また、持ち前の明るさと率直さは私の強み。作業員の方々とのコミュニケーションが、仕事を動かす力になっています。

豊澤 菜々彩 2017年入社 土木事業本部 機械部

QUESTION 2



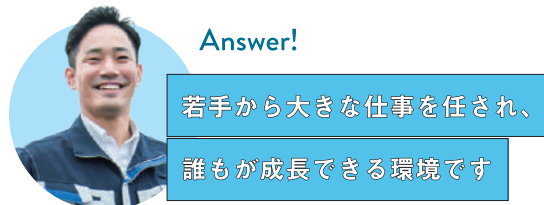


Answer!

家族のような温かい雰囲気で、
楽しく仕事できています！

私が東洋建設に入社を決めたのは、「人」に魅力を感じたからです。機械部は少数精鋭でお互いに信頼し合いながら仕事をしているのが、会社説明会での言葉の端々から伝わってきました。特に現在の上司となる方々の人柄に惹かれ、この人についていこうと思って入社を決めました。今でもその判断は間違っていなかったと感じています。私にとっての現場は本社と作業船。本社では家族のような温かい雰囲気で行き先、海上の作業船では作業員の方々と、楽しくコミュニケーションしながら仕事をしています。

豊澤 菜々彩 2017年入社 土木事業本部 機械部



Answer!

若手から大きな仕事を任せられ、
誰もが成長できる環境です

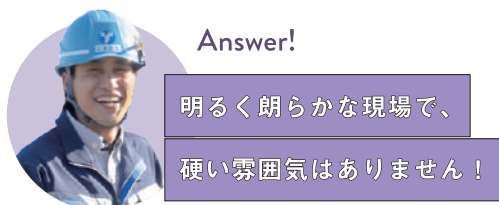
「人を大切にする会社」だと感じられたこと。それが、私が数あるマリコンの中で東洋建設に入社する決め手でした。実際に入社してもその印象に間違いはありませんでした。直属の上司はもちろんですが、それ以外にも多くの方が見守ってくれていると感じますし、人の育成にもとても力を入れている会社だと思います。実際に若手から大きな仕事を任せてもらえ、しっかりとフォローもあって丁寧に教えてもらえ、誰もが成長できる環境です。定期的に上司と面談し自分のキャリアの希望を伝えることができるのも、働きやすい環境につながっています。

安藤 駿太郎 2018年入社 四国支店 総務部

Question 3

会社や働く人の雰囲気

について教えてください！

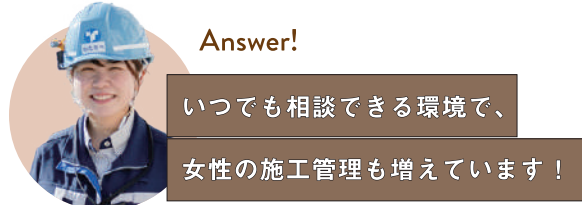


Answer!

明るく朗らかな現場で、
硬い雰囲気はありません！

入社以来一貫して土木の現場を経験してきた中で感じるのは、東洋建設の現場は圧倒的に明るく、朗らか。元々非常に穏やかな人が多い会社だから、建設業界のイメージにあるような硬い雰囲気はなく、コミュニケーションが豊かだと思います。また、現場の雰囲気は指揮を執る所長次第という面もありますが、私がこれまで一緒に仕事をした所長の多くはメンバーの輪の中に自ら入って、みんなで現場を一緒につくっていくという姿勢の方が多いと感じますね。

時任 和駿 2015年入社 大阪本店 土木部



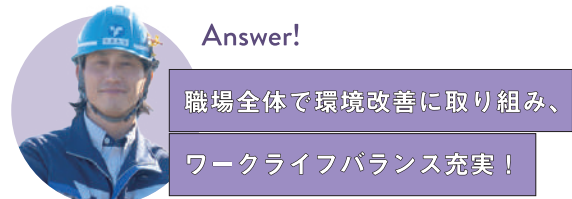
Answer!

いつでも相談できる環境で、
女性の施工管理も増えています！

現場によっても雰囲気は変わりますが、東洋建設の建築現場で総じて言えることは、メンバーと気軽に話ができる環境だということです。困ったことや悩みがあっても、いつでも相談できますし、真面目な人が多く、風通しが良いことは、どの現場でも実感します。明るい人が多いのも当社の現場の特徴で、裏表のない人間関係やコミュニケーションが、働きやすい雰囲気につながっているのではないのでしょうか。また、女性の施工管理も増えており、職場環境の整備にも積極的に取り組んでいる会社だと思います。

渡邊 早織 2019年入社 関東建築支店 建築部

QUESTION 4

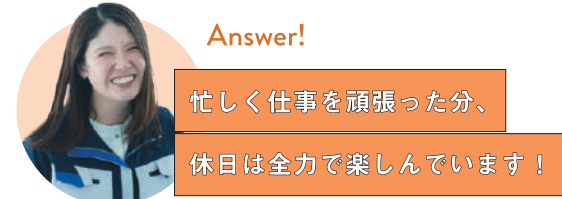


Answer!

職場全体で環境改善に取り組み、
ワークライフバランス充実！

建設業界と言えば、長時間の残業などハードな職場というイメージが強いと思いますが、東洋建設では環境改善に積極的に取り組んできていると思います。特に残業時間の短縮に関しては、職場全体で取り組もうという意識が強く、ワークライフバランスはとても良いです。私自身は現在単身赴任中なのですが、現場が休日となる土日は、家族とのプライベート時間を大切にしています。また、個人の趣味としてはロードバイクでのツーリングも楽しんでいます。

時任 和駿 2015年入社 大阪本店 土木部



Answer!

忙しく仕事を頑張った分、
休日は全力で楽しんでいます！

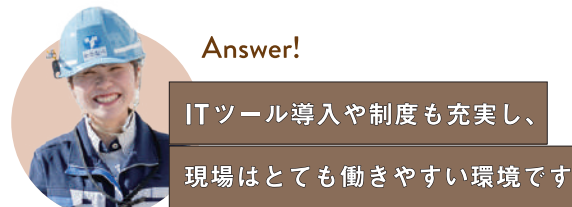
私の業務は、全国の海で活躍する作業船の維持管理やシステム開発など、船舶に関わる仕事になるため、本社への入社以外に全国に出張することがとても多いです。全国を飛び回るので忙しきで目が回りそう但也有ありますが、何より仕事は楽しいですし、苦だと感じることはありません。仕事で頑張った分、十分、プライベートの時間も取れる環境です。私は洋楽やK-POPのファンですが、昨年だけでも、毎月のようにライブに足を運び楽しんでいます。

豊澤 菜々彩 2017年入社 土木事業本部 機械部

Question 4

ワークライフバランス

について教えてください！

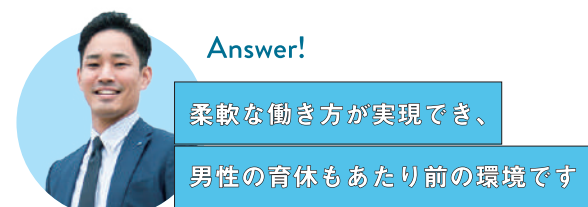


Answer!

ITツール導入や制度も充実し、
現場はとても働きやすい環境です

私は入社4年目に結婚しました。まだ子どもはいませんが、出産・育児など近い将来に訪れるライフイベントに合わせて、どのように歩んでいくか、さまざまな選択を考えています。まだはっきりと答えは出ていませんが、会社の制度は十分に整備されているので、自分の考えに合わせて活用していくつもりです。施工現場は工程の進捗や天候に影響されやすく、オフィス勤務とは異なる環境ですが、ITツールの導入なども進んで残業時間も短くなっていますし、休みも十分取れています。休日には好きなお笑いライブを楽しむなどプライベートも充実しています。

渡邊 早織 2019年入社 関東建築支店 建築部



Answer!

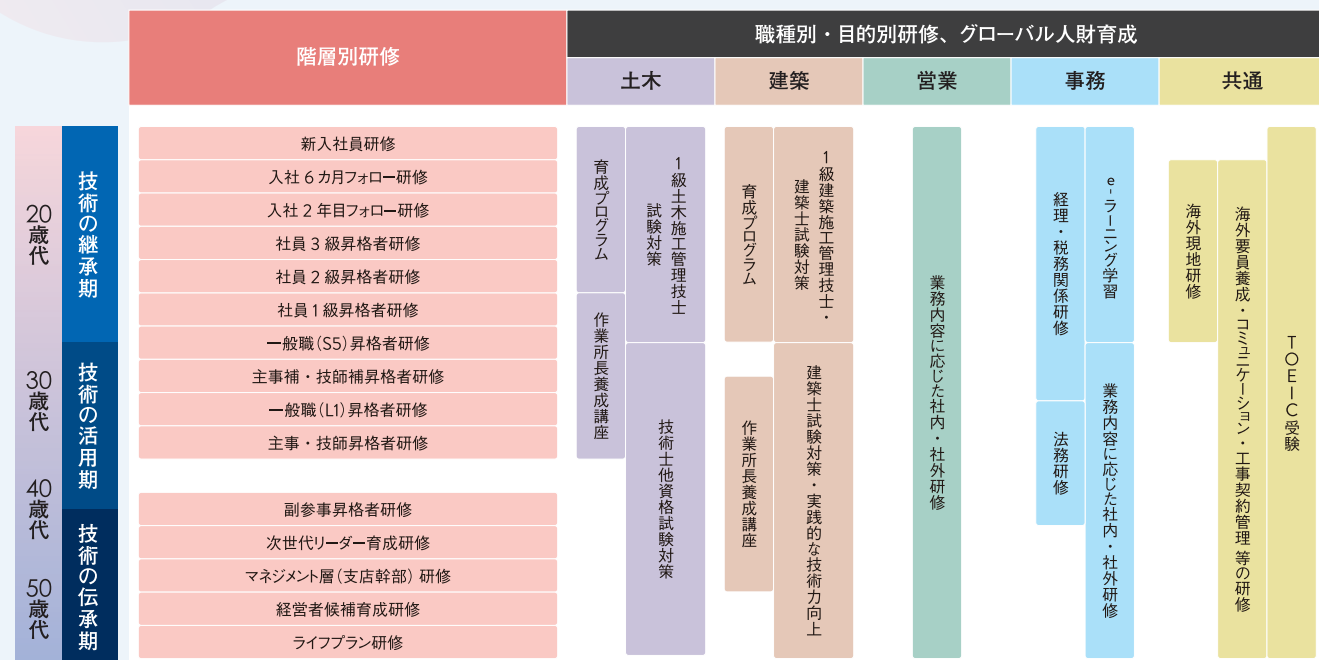
柔軟な働き方が実現でき、
男性の育休もあたり前の環境です

先日、第一子が誕生しました。周囲の協力もあって育休を取得し、またこの機会を使って、コロナ禍で延び延びになっていた結婚式も挙げることができました。私が特別ということもなく男性社員が育休を取るケースはあたり前になりつつあり、男女関係なく、自分のライフプランやライフイベントに合わせて、柔軟に働くことができる環境であることを実感する日々です。仕事を充実させていくのはもちろんのこと、育児にも全力で取り組み、ゴルフやキャンプなども楽しんで、ワークライフバランスを充実させています。

安藤 駿太郎 2018年入社 四国支店 総務部

東洋建設でのキャリアって？

人財育成制度



新入社員研修

3カ月間の研修で、即戦力を目指します。

土木職、機械職、事務職は約2カ月間、
建築職は約3カ月間の長期の研修を集合形式で実施し、
職場配属後に即戦力として活躍できる体制を築いています。

集合研修
(全職種合同)

ビジネスマナーや会社・建設業のルール、ICTスキル等を習得し、学生から「建設会社の職員」に成長するための効果的な研修を実施しています。また、グループ対抗でさまざまなワークを行い、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養います。

職種別研修

土木
機械
若手現場職員を講師として、測量やCAD、ドローン操縦等、最前線の技術や知識を身に付け、若手から活躍できる人財を育成します。

建築
「座学から現場実習へ」をテーマに、若手社員が携わる業務（鉄筋・型枠・コンクリート工事）を中心に、講義と現場での実務を繰り返し行い、即戦力となる人財を育成します。

事務
本社コーポレート部門の職員を講師とする業務の学習や建設業経理士資格の学習等、配属後の業務に活用できる実践的な研修を実施しています。



人財育成の
考え方は？

職員一人ひとりの能力の向上が働きがいや仕事に対する満足度向上につながるという考えのもと、多種多様な教育・研修プログラムを通じて「人材から人財への成長」=「将来、各分野で活躍できる人財」の育成を行っています。

海外研修・英語研修

海外赴任者向けのビジネス英語研修やTOEIC受験など、従来から従業員の英語能力向上に取り組んでいます。2014年度からは、海外での現場体験、異文化での生活を通じて、海外勤務に対する意識づけをするとともに、現地で活躍するプロジェクトマネージャーの業務理解を目的とした海外研修制度を導入しました。

BIM研修

BIMの推進と現場業務の高度化・効率化を目的とした研修です。若手職員を主な対象とし、実務でも使用する「BIM360」というソフトを用いて、次世代を担う人財の育成に取り組んでいます。



メンター制度

若手職員が新入社員の“メンター”として資格取得のためのフォローや悩み相談など、会社生活全般のサポートをすることを目的とした制度です。社会人として不慣れな新入社員の不安を少しでも解消できるよう、“メンター”の育成に取り組んでいます。

充実した
対策があるから、
自信をもって
試験に臨めます



1級土木・建築施工管理技士試験対策研修

若手がいち早くプロフェッショナルな技術者として現場で活躍することを目的に、1級土木・建築施工管理技士資格取得のための研修を実施しています。資格学校とタイアップし、外部講師や当社独自の講義、模擬試験等を実施し、毎年、全国平均を大幅に超える合格率を実現しています。

1級土木施工管理技士

合格率

一次試験 東洋 **88%** (全国平均50%)
二次試験 東洋 **70%** (全国平均33%)

※前年度実績 (発刊日時点)

1級建築施工管理技士

合格率

一次試験 東洋 **64%** (全国平均42%)
二次試験 東洋 **79%** (全国平均46%)

※前年度実績 (発刊日時点)

免許・資格取得推奨

職員が積極的に自己の成長を促すことができるように、業務を遂行する上で関係の深い300を超える免許・資格を取得推奨資格として設定しており、所定の条件を満たせばその取得にかかる受験料、登録費用、講習会費用や交通費などの全額を支援する制度を設けています。また、一定の資格を取得した場合に支給する資格取得一時金や資格手当（毎月支給）の制度も設け、職員のスキルアップ・モチベーションアップに取り組んでいます。

取得奨励資格（一例）

- 技術士
- 1級土木施工管理技士
- コンクリート技士
- 1級管工事施工管理技士
- 1級建築士
- 1級建築施工管理技士
- 1級建設機械施工技士
- 建設業経理士
- 宅地建物取引士
- 衛生管理者
- TOEIC700点以上



東洋建設の働き方は？

働く環境・福利厚生

手当

ライフイベントや働く環境に応じて
多様な手当が支給されます。

- 家族手当
- 結婚祝金、出産祝金
- 転任手当、転勤手当
- 海外勤務手当 等

Pick up!

転勤手当

転勤を1つの成果（社業への貢献）と捉え、
赴任形態別に転勤1回当たり最大36万円を一時金として支給しています。

休暇制度

産前産後や育児、介護以外にも
独自の充実した休暇制度があります。

- 結婚時休暇
- 転勤休暇
- 配偶者出産時休暇
- 工事終了時休暇 等
- リフレッシュ休暇

性別に関係なく
働きやすい環境が
整っています



ワーキング・グループメンバーにて

女性技術職員によるワーキング・グループ

どぼジョブWG

土木

機械

土木・機械職の女性技術職員が安心して働き続けられる体制を整えることを目的として2020年に設立されました。女性技術職員が悩みや問題を共有し、対策や改善点を取りまとめ、働き続けたいと思えるような環境や制度についての情報発信や会社への提案を行っています。

取組事例

- 女性用作業服の導入
- 工事現場や船内での女性専用快適トイレの設置
- 男性職員に対する研修（女性活躍・生理等について）の実施

単身寮

独身・単身赴任の職員は
借上寮または社有寮に入居可能です。

※自己負担額は、居住性ポイント、
独身・単身の別、資格、地区区分による

自己負担額の例

- 独身・25歳の場合
0円～15,000円／月（水道光熱費込）
- 単身赴任の場合
0円～6,000円／月（水道光熱費込）

社宅制度、住宅手当

配偶者や子を有する職員は
借上社宅または社有社宅に入居可能です。
また、持ち家の方には住宅手当が支給されます。

※社宅制度の自己負担額は、地区区分、資格による

自己負担額の例

- 借上社宅の場合
30,000円～45,000円／月

充実した社宅、
住宅手当は
自慢のひとつです



その他制度

財形貯蓄、従業員持株会、GLTD保険、永年勤続表彰、人間ドック受診費用補助、ベビーシッター利用割引制度、
ベネフィット・ステーション 等

働く環境の
考え方は？

東洋建設では、「人間尊重」の経営理念のもと、
性別、国籍、学歴、職歴等にかかわらず、職員一人ひとりが安心・充実して
働くことができる環境を整えています。



生産性向上に向けた

施策



デジタルツール等の導入によって、
現場をはじめとした生産性向上に取り組んでいます。

- iPad、iPhone Proと連携した様々なアプリの活用
※安全日誌、遠隔管理、チャット導入、品質管理等
- BIM ワークフロー推進
設計から施工までBIMデータを活用して生産性向上を図っています。
- 施工時生産性向上
ICT施工、プレキャスト化、作業船、作業機械の自動、自律施工
- WEBカメラによる本社・本支店との情報共有強化

TOPIC 01

働く環境に対する

主な取り組み



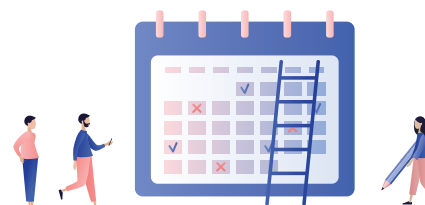
働き方改革を進め、
安心して働ける環境の実現に取り組んでいます。

- 有給取得推進期間の設定と年間休日カレンダーの掲示
- 有給休暇の計画的付与（年5日の確実な取得）
- 計画有休プラス運動（計画有休に追加して休暇の取得を推進）
- 工事終了時休暇の取得推進
- 休暇予定表・実績表の作成（全作業所）
- 単身赴任者の3連休取得推進
- 全社統一NO残業デー、全社統一19時退社デー 等

TOPIC 02

育児休業、

育児目的休暇取得の推進



育児休業、子女養育のための時短勤務等が
取得しやすい環境の整備を進めています。
男性の取得率向上にも積極的に取り組んでいます。

育児休業、育児目的休暇取得率（男女別）（％）

区分		2020年	2021年	2022年	2023年
女性	育児休業	100	100	100	100
男性	育児休業／ 育児目的休暇	19	19	34	72

TOPIC 03



私たちがつくりだすモノが、
明日の社会を豊かにしていく。